

■わが市・わが町・わが村

緑映え いのち輝く 快適な人間環境都市・祖父江



■祖父江町 S O B U E

祖父江町は、名古屋市の北西ほぼ20kmに位置し、西側には木曾川が流れ、対岸は岐阜県羽島市となっています。

人口は、23,095人（平成15年11月1日現在）、面積は22.12km<sup>2</sup>の町です。

町内には、多くの自然が残され、特に町の西側を流れる木曾川には、国内でも珍しい河畔砂丘があり、この砂丘では、砂と松林が織り成す白砂青松の美しい景観を見ることができます。この「祖父江砂丘」を活用した、約6,100ヘクタールにも及ぶ広大な水辺のレジャースポット「ワイルドネイチャープラザ」が整備されています。町内はもとより、県外からもウインドサーフィンをするために、多くの人がこの町を訪れます。毎年秋に行われる「サンドフェスタ」にも多くの人に参加し、様々な催しに賑わいを見せています。

また、町の最も代表的な特産品ぎんなんは、全国的にも有名で、マスコミ等でとりあげられることもしばしばあります。ぎんなんの主要品種は金兵衛、久寿、藤九郎、栄神ですが、それぞれに食感、風味が異なります。また収穫の時期も異なっており、出荷は7月から12月までのほぼ半年間にわたり行われます。ぎんなんを使った様々な食品も作られ、町を訪れる人に好評を得ています。イチヨウの葉が色づく頃、「イチヨウ黄葉まつり」が開催され、カメラ片手に散策する人々の姿を多く目にすることができます。イチヨウの木は、伊吹おろしを防ぐ防風林として古くから神社・仏閣・屋敷のまわりに植えられていました。町全体が、黄金色に染まるその風景は圧巻の一言につきます。

○サンドフェスタ

毎年10月の第一日曜日に開催されます。砂の砂像展では、約一週間の期間をもって、巨大な砂像が沼山砂丘に作られます。



また、ビーチバレーボール大会、サンドドッジボール大会等には、多くの若者らが真剣にボールを追う姿が見られます。また、道具も貸し出される野外バーベキュー大会は好評を得ています。



○イチヨウ黄葉まつり

毎年10月下旬、名鉄尾西線山崎駅周辺で開催されます。美しいイチヨウの風景だけでなく、会場となる祐専寺では、ぎんなんの販売の他、飲食コーナーも設置され、訪れた人々を楽しませています。

祖父江町ホームページ <http://www.town.sobue.aichi.jp/>